

獨協大学 ニュース

DOKKYO UNIVERSITY
NEWS

5

2021

VOL.472



2021年度 学長メッセージ

学長メッセージ

新しい日常と、 その先の社会へ

獨協大学学長 山路朝彦

(やまじ・あさひこ)

1953年生まれ。81年東京外国語大学大学院外国語学研究科修士課程ゲルマン系言語専攻ドイツ語修了。86年獨協大学外国語学部専任講師、90年外国語学部助教授、2001年外国語学部教授。

本学における役職歴は、1994～96年外国語学部教務主任、97～2001年学長室委員、03～07年学生部長兼敬和館長、08～12年教務部長、12～19年副学長兼総合企画部長および獨協学園理事。20年4月1日より学長に就任。



昨年度は、大学のみならず、世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れ、今年度も先行きは不透明なままのスタートとなりました。

毎日の生活や世の中の常識が変化していくのを目の当たりにして、皆さんも不安や混乱が続いているかもしれません。

ここでは、新しい日常とその先の社会に進む皆さんにメッセージを送りたいと思います。

コロナ禍における大学

今年の3月に送り出した卒業生を含め、2020年度はほとんどの学生が大学のキャンパスに通うことなく1年を過ごし、また、友人たちや先生方と直接会う機会すら制限されることになりました。大学としてこれらの対応を取らざるを得ない状況にあったことは、今でも残念でなりません。

獨協大学は「学問を通じての人間形成の場」であり、言うまでもなく教育と研究の場です。ここでは「自由な出会いと交流」が保障されなければなりません。しかし、コロナ禍においては、その前提となる「安全で安心な環境」

を確保することが困難になってしまいました。生命や健康のことを最重要課題と考えた結果、1年間に及ぶ入構制限という苦渋の決断をした事情をご理解いただきたいと思います。

昨年度は、日本においてのみならず、世界中の大学が危機にさらされ、社会は活動の停滞を迫られました。

しかし、獨協大学の皆さんは、遠隔授業というこれまで経験のなかった教授方法によって、苦勞しながらも学びを続けてきました。皆さんの「学びを止めない」という努力と成果は誇るべきものであります。この時代に経験していることを胸に、堂々と社会に乗り出す準備を獨協大学で続けて

ください。たとえ、大学生活が通常と異なるものになるとしても、獨協大学の「教育を止めない」という、皆さんを支援する姿勢は今後とも変わりません。

建学理念

「大学は学問を通じての
人間形成の場である」

獨協大学初代学長の天野貞祐先生が掲げた「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学理念は、大学は単に学問を教授する場ではなく、教える者と学ぶ者が一体となって人間形成という営為を成し遂げる場であるということを示しています。本学は一昨年で創立55周年を迎えましたが、これまでこの理念を揺るぎなく掲げ、実践してきました。

緑豊かな獨協大学のキャンパス。そこから離れて学ぶ時間が多かったとしても、人間性を高め、それぞれが活躍する場で存分に活かせる能力を得られるはずです。

これからの社会へ

今、私たちが目指すべき社会は、オープンでいわゆる「開かれた社会」であり、少なくとも皆さんの中でそうした社会への関心を高め、活発な議論を起こすことが必要だと考えています。また、目先の利益にとらわれず、公共的意識の高い社会へと転換を試みることが求められています。

開かれた社会、自由で平等で、差別や格差のない、多様性に富んだ世界は、皆さんの理想でもあるはずです。また、放射能に脅かされ、気候変動による幾多の災害に襲われるなど、危機的状況を経験している日本であればこそ皆さんの環境意識も高まっているはずです。

若い時期に世界的危機を日々の生活の中で経験した皆さんは、上の世代と同じ価値観をもちながら今までは異なった方法で、これまでとは異なる社会を目指してくれるものと期待しています。

家族や友人とお互いの無事を確認し合い、将来の不安と隣り

合わせに過ごした皆さんが目指すその社会は、きつと思いやりにあふれているはずです。これからの世界を創り出すのは皆さんです。そのためにも皆さんは、獨協大学で、ゼミの仲間のもとより、講義で初めて出会う人とも協働して、考え、話し合い、相手を理解し、自分たちの思考を曖昧なものから形あるものへと高めていく力を養う必要があります。

危機的状況の中にあつても、ネガティブな発想だけに流されず、日常の生活を「端正に」守り続け、学び続けることで、少しずつ進んでいくことの重要さを学んでいるはずです。

就職活動では、たびたび自分について語ることを求められますが「自らを客観的に見る力」、「自律的に行動する力」は、コロナ禍の試練において既に養われているのかもしれない。

新たな社会を創造する皆さんには、卒業後に発揮できる様々な能力を大学生活の中で身につけてほしいと願っています。

皆さんは、今後も、幾多の課題に直面するかもしれません。その

ときに対応できる「技能と感性」、特に人の悲しみに共感できる「想像力」と「感受性」をさらに大切に育てながら、学業に、学生生活に臨んでください。世界の動きとともに常に足もとにも目を向け、大学生活のみならず、その先の人生を自ら積極的に設計し、逞しく生き抜く力を養ってください。将来、どのような境遇にあつても夢や希望を持ち続けることで、一人ひとりにいずれ訪れる大いなる幸福を確実に掴み取ることができるようです。

皆さんの大学生活が、より豊かなものとなるように祈念して2021年度の学長メッセージといたします。



2021年度入学式 今年度は2002名が入学

4月1日、35周年記念館アリーナにて2021年度入学式を挙行了。
会場での密を避けるため、参加は新入生のみとしたほか、式典は学部を指定し午前と午後の2部制とした。当日、新入生はマスクを着用し、学生センター1階で検温および手指の消毒を行うなどの感染予防対策をとった上で参加した。

式典で、山路朝彦学長は「創設者である天野貞祐初代学長は、獨大生を『良き意思を持った人間』『思慮を持つ人間』『豊かな情操を持った人間』『社会に役立つ知識技能能力を持った人間』、そして『健康な人間』に育てたいと言いました。50年以上も前の言葉ですが、この理想は今も変わりません。獨協大学で学ぶことに誇りと自信を持ち、この学修、生活環境の中で、自らを精一杯、磨き上げてください」と述べた。また、吉田謙一郎獨協学園理事長は「大学生活において見聞を広め、教養を深め、知識を涵養し、幅広い視野と高い視点を持って将来を見極める力を養って下さい。それが皆さんのこれからの成長の源になります」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館からは、イナ・レーペル大使閣下より、祝辞が寄せられ、ドイツ語学科のM. ラインデル准教授が代読した。

式典終了後、新入生は東棟で学生証の交付を受けた。また学生センター1階には、クラブ・サークルの勧誘チラシが置かれ、新入生は各々が興味のある団体のチラシを取っていた。



式辞を述べる山路学長



立て看板は今年も撮影スポットに



晴れやかな表情で帰途につく新入生

2021年度入学者は次のとおり。

学部 ドイツ語学科:139名、英語学科:279名、フランス語学科:112名、交流文化学科:99名、言語文化学科:174名、経済学科:331名、経営学科:338名、国際環境経済学科:129名、法律学科:226名、国際関係法学科:91名、総合政策学科:81名 計1999名

大学院 外国語学研究科:2名、経済学研究科:1名 合計3名



真剣な表情で式典に臨む新2年生たち



クラスメイトに直接会うのが初めてという学生も多かった

約1年越しの開催 2020年度入学式を挙行

3月30日、新2年生を対象とした2020年度入学式を挙行了。

この入学式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、やむを得ず中止した2020年4月1日の入学式を、時期を替えて開催したもの。本学では入学式を、学生が獨協大学の一員となることを意識するための重要な節目と位置づけており、中止決定後も、2020年度中の開催を模索し続けてきた。このたび、約1年を経て入学式実施となった。

本学は例年、全ての新入生が一堂に会して入学式を実施していたが、今回は席の間隔を空け、午前と午後に分けて実施した。

式典で、山路朝彦学長は「あらためまして、ご入学おめでとうございます。より良い世界を構想し、そこに至る道筋をつけるのが学術や学問であり、大学です。皆さんも教育・研究共同体の一員として、私達と共に考え、学び続けていきましょう」と式辞を述べた。吉田謙一郎獨協学園理事長は「学生時代は勉学に励み、知識を深め、友情に喜びを見出し生涯にわたる友を得る時間にして下さい。月日は瞬間に過ぎていきます。一日一日を大切に、実りある学生生活を送ってください」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館からは、イナ・レーペル大使閣下より祝辞が寄せられ、ドイツ語学科のM. ラインデル准教授が代読した。

プロムナードには学生会団体が作成した歓迎のポスターが並べられたほか、学生会団体の部員が職員とともに案内誘導係として新2年生を迎え入れるなど、大学全体が祝福ムードに包まれた。

第54回 卒業式・ 第43回 学位記授与式

3月20日、第54回卒業式・第43回学位記授与式を挙行政した。2,144名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。

キャンパスおよび式典会場が密にならないよう第一部は外国語学部と法学部、第二部は国際教養学部と経済学部、大学院で実施し、卒業生本人のみの出席とした。式典の様子は、今回初めて、卒業生と卒業生の保証人を対象にオンラインで配信した。

式典で、山路朝彦学長は「2020年度卒業生・修了生として、社会に堂々と乗り出してください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長からは「獨協人としてのアイデンティティを胸に、新たな時代を築いてください」と激励の言葉を贈った。

その後、卒業生・修了生の代表者が、答辞を述べた。第1部では、国際関係法学科の佐藤祐貴さんが「かけがえのない友と出会い、学び、成長することができました。どのような状況であっても獨協大学で学んだことへの感謝と誇りを持ち、明るい未来に向かって歩んでまいります」と決意を表明した。第2部では、経済学科の小林博慧さんが「獨協大学での4年間は、私たちにたくさんの実り豊かな出逢いを授けてくれました。そんな一つ一つの素晴らしい経験を、どう今後の人生に活かしていくのか、それを模索していくことが、私たち卒業生に与えられる大きな使命であると思います」と語った。

プロムナードには、クラブ・サークルからの祝福メッセージが書かれた看板が並べられ、学生センター前には、花で装飾されたアーチが設置された。また、各人が学位記を受け取る教室のスクリーンや学生センターの大型モニターには、大学教職員らによるメッセージ動画が流れるなど、キャンパス内は祝福ムードに包まれた。

人工芝グラウンドがリニューアル スポ・レク授業、学友会活動の活性化を期待

3月31日、グラウンドの芝の張り替え工事が完了した。全面張り替えは、2007年に人工芝グラウンドが竣工して以来初めてのことで、工事は1月から約2ヶ月間にわたり行われた。

今回導入した人工芝「アストロフィールドDD」は、FIFA(国際サッカー連盟)公認メーカーの製品で、芝同士に適度な間隔があり怪我を抑制する。また、充填材には、温度上昇を抑制する特殊なチップが使われており、熱中症予防にも効果がある。プロサッカーチームのグラウンドにも同種の人工芝が使われている。

張り替えを担当した施設事業課の城田修司課長は「人工芝グラウンドはスポーツレクリエーションの授業および学友会活動で利用されており、本学の学生スポーツの中心施設です。今回導入した芝は、学生が安全に最大パフォーマンスを出せるものを選びました。施設はあるだけでは意味をなしません。学生のみなさん、授業や学友会活動で人工芝グラウンドを有効活用してください」と語った。



リニューアル後の人工芝グラウンド

■ 学 士

学科	学位記取得者数	総 代
ドイツ語学科	133名	菅井 杏奈
英語学科	343名	生沼 ジェイコブ
フランス語学科	102名	中澤 奈緒
交流文化学科	112名	長山 シャヒドラムシャ
言語文化学科	151名	廣岡 幸恵
経済学科	340名	安部 朱音
経営学科	360名	松崎 彩音
国際環境経済学科	141名	小林 風夏
法律学科	268名	外塚 蒼太
国際関係法学科	92名	藤原 小春
総合政策学科	95名	高橋 皓太

■ 修 士

研究科	学位記取得者数	総 代
法学研究科	1名	鈴木 孝子
外国語学研究科	2名	植草 あかね
経済学研究科	4名	黎 華新



式典では各学科の総代が山路学長から学位記を受け取った

2021年度始動 学生がキャンパスに戻る

2021年春学期が始まった。授業開始に先駆け、4月1日に2021年度入学式、3月25日から4月6日まで健康診断を、キャンパス内で感染予防対策を取りながら実施した。一方、オリエンテーション期間中に行った、学部生対象の各種ガイダンスはオンライン等で行った。

授業初日となった4月12日、E-202教室で行われた授業「現代社会1(国際法1)」には、約80名が出席。座席の間隔をあげ、窓や扉を開放するなどの感染予防対策を講じた。

1限目の英語クラスの授業を終えた星千陽^{ちひろ}さんと、庄子千尋さん(ともに仏語2年)は「約1年ぶりに授業を教室で受け、遠隔授業に比べて先生にも質問しやすいと感じた。クラスメイトと同じ空間で授業を受けることができ、安心感があった」とコメント。2限目以降の授業を自宅で受講するために、帰路に就いた。

このほか、キャンパス各所には、大学内で遠隔授業を受講できる自習ブースが設置され、利用する学生の姿が見られた。



始業前のプロムナードの様子(4月12日撮影)



自習ブースを使用中の学生

レジャイナ大学(カナダ)と学術交流協定を締結

本学は、2020年11月にカナダ・サスカチュワン州にある州立大学、レジャイナ大学 (University of Regina) と学術交流協定を締結した。カナダの協定校としては3校目となる。教養、ビジネス、教育、工学・応用科学、運動・健康、メディア・芸術、看護、科学、社会福祉の9学部を擁し、190以上の専攻を提供している。学生総数は約1万3千人。また、キャンパス内に3つの関連カレッジ (Campion College、Luther College、First Nations University of Canada) がある。

2021年3月には、レジャイナ大学のLanguage and Culture Programがオンラインで実施され、獨大生3名が参加した。参加学生は語学だけでなく、カナダの文化や多文化社会について学んだ。

前沢浩子国際交流センター所長は「レジャイナ大学は、特にジャーナリズム、メディア学、公共政策やビジネス等の研究が進んでおり、本学で学ぶ学生にとって良い留学先になる。また、オンライン留学も実施しており、費用を抑えて参加できる点からも学生のメリットは大きい」と語った。

国際交流センターでは、2021年度夏季休業期間も、レジャイナ大学のオンラインプログラムを実施予定。

詳細は国際交流センター (048-946-1918) まで。



レジャイナ大学のキャンパス (提供:レジャイナ大学)

オープンカレッジ特別講座(オンライン配信) 「ハプスブルク史への招待

— マリア・テレジアの時代 —」開催

3月27日、オープンカレッジ特別講座「ハプスブルク史への招待—マリア・テレジアの時代—」(主催・エクステンションセンター)をオンラインで開催した。講師は上村敏郎ドイツ語学科准教授が務め、ハプスブルク家で唯一の女性君主マリア・テレジアについて講演した。

上村准教授は講演の中で、18世紀のヨーロッパで感染が拡大していた天然痘に対して、マリア・テレジアはどのように向き合い、対処したのか、当時の資料などを提示し解説した。講演の最後にはチャット機能を使い、質疑応答を行った。

終了直後に行った受講者アンケートには「教科書では学べない内容を聴くことができ、刺激を受けた」、「天然痘と闘った当時の話は(新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する今だけに)身近に感じた」といった感想が寄せられた。今回は、オープンカレッジ特別講座として初めてのオンライン開催となった。北は北海道、南は長崎県から参加があり、280名が受講した。



(写真:講演中の上村准教授。背景はマリア・テレジアとその家族が描かれたマルティン・ファン・マイテンス作『1754/55年頃の皇帝一家の肖像』)

埼玉県SDGsパートナー登録

3月31日、本学の「埼玉県SDGsパートナー」への登録が完了した。この制度はSDGsの取り組みを自ら実施、公表する県内企業・団体等を「埼玉県SDGsパートナー」として埼玉県が登録するもので、SDGs達成に向けた具体的な行動を促進することなどを目的としている。埼玉県内の大学としては、初めての登録となった。

今回の申請にあたり、本学は重点的な取り組みとして「CO₂排出量削減」「SDGs人材の輩出」「ダイバーシティ&インクルージョンの推進と女性の活躍推進」の3点を挙げた。毎年取り組み状況を検証し、2030年の目標達成を目指す。

◆SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに達成すべき世界目標。「貧困をなくそう」や「人や国の不平等をなくそう」などの17の目標と、それらをより具体的に示した169のターゲットから構成される。

◆ダイバーシティ&インクルージョンとは

国籍、性別、宗教、年齢、障がいの有無、性的指向・性自認などの違いを受け入れ、多様性を積極的に活かすこと。



2021年度入試状況総括

2021年度の獨協大学入学志願者数が確定した。一般選抜(大学入学共通テスト利用入試を含む)の志願者総数は15,670人(前年度比78.2%)で、前年度の20,050人から4,380人減少した。また、2020年12月に実施した学校推薦型選抜、総合型選抜、その他の選抜の志願者数は1,226人(前年度1,223人)で、一般選抜と合計した志願者総数は16,896人(前年度21,273人)となった。受験生の安全志向による一般選抜から総合型・学校推薦型選抜へのシフトや、受験生一人当たりの併願受験数の減少などが、今回の結果に影響した。2022年度入試に向けて、入試制度を見直すとともに、入試広報を重点化し、志願者数回復を目指す。

原成吉入試部長は「18歳人口の減少と私立大学の入学定員厳格化を背景として、受験生の大学選びはより一層慎重になりつつある。2022年度入試では受験生の視点に立った入試制度改革などを推進するとともに、改めて獨協大学の魅力を感じてもらえるよう、オープンキャンパスやSNSなどを通じて積極的にPRしていきたい」と語った。



オンラインオープンキャンパスを行う入試課スタッフ(2020年度)

クラブ・サークルが新入部員を募集中

獨協大学の29の文化会団体(部)、35の体育会団体(部)、45の愛好会団体(サークル)では、現在、新入部員を募集しています。

各団体の情報は、以下のいずれかから取得可能です。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査
トップページ > 学生生活 > クラブ・サークル
- 冊子『雄飛』で団体の活動を確認
- 獨協大学校友会新入生歓迎ページ(QRコード)をチェック
- 各種SNSで団体を検索し、団体宛にメッセージを送信
(送る前に冊子『雄飛』に記載されているアカウントかどうか要確認)
- 校友会総務部長室事務課
(学生センター3階)のスタッフに相談

活動見学の際には、事前に各団体へ連絡し、必ず見学許可を得てください。



冊子『雄飛』表紙

歴史研究者かくあるべし

平井岳哉

経済学部では日本経済論を担当した。植民地期の台湾・満州における経済政策や企業経営の専門家であるとともに、金融政策や銀行経営など金融史研究でも第一人者であった。研究の特徴として、それまでの研究で取り上げられていなかった実務家や経済団体を題材にしていることがあげられる。史料への丹念な渉猟を通じて、名前が埋もれがちな経済人などへの畏敬の念を抱いた為と考えられる。大学図書館でマイクロリーダーを操作している姿を幾度もお見かけした。深い知識に基づく先生のお話を、混迷した時代だからこそ聞いてみたかった。

(ひらい・かくや 経済学部教授)

訃報



波形 昭一 (なみかた・しょういち)

名誉教授

2020年12月12日、病気のため死去、79歳

1970年 経済学科専任講師 1990年 経済学科長

1975年 助教授 1997年 広報部長

1982年 教授 2012年 名誉教授

1984年 校友会文化部長

米山ゼミ

環境省「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞

2020年12月、国際環境経済学科米山昌幸ゼミの「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」チームが「令和2年度水・土壌環境保全活動功労者」として表彰された。これは、水・土壌環境の保全に関し、顕著な功績のあった団体や個人に対する環境省による表彰で、大学として初めての受賞となった。プロジェクトチームが2013年度から市民団体やNPO法人、行政等と連携し行ってきた、伝右川の再生・浄化活動や啓蒙活動などが評価された。

3月16日、表彰状伝達式が埼玉県庁にて開催され、小池要子埼玉県環境部長より米山教授に表彰状が授与された。



表彰状伝達式の様子
(左・小池環境部長、右・米山教授)

獨協大学ニュース 学生記者募集

学生記者は『獨協大学ニュース』に掲載する記事の取材、執筆、特集記事のレイアウトなどの編集、納品後の配架作業などを行います。校友会(クラブ・サークル)活動との掛け持ちもOK。記事を書くことや、写真に興味がある方(特に1・2年生)は、以下の説明会に参加してください。

■学生記者説明会

日時 第1回 5月10日(月) 12:50~13:20

第2回 5月11日(火) 12:50~13:20

※いずれも同じ内容です

※説明会はZoomによる同時配信を行います

会場 (対面) 東棟E-312教室
(Zoom) URL・ミーティングID・パスワードは以下よりご確認ください。

PorTaII > 掲示 > 掲示板 > お知らせ・ご案内 > 学生記者募集のお知らせ

問合せ 総合企画課広報係 048-946-1683
kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

キャンパス・セクシュアル・ハラスメント防止のために〈キャンパス人権委員会より〉

全ての学生および教職員がお互いに人格を尊重し、快適な環境のもとで勉強、教育・研究、職務を遂行するために、大学においてセクシュアル・ハラスメントは絶対にあってはならないことであり、未然に防止することが重要です。本学では「キャンパス人権委員会」を設け、委員が学生や教職員の相談に応じ、またセクシュアル・ハラスメント行為防止の啓発活動を行っています。

Q セクシュアル・ハラスメントの被害を受けたら、まず何をすべきですか？

A ひとりで悩んでいても決して良い結果は出ません。キャンパス人権委員に連絡をとってください。どの委員に連絡をとってもかまいません。直接会うか、電話、メール、手紙を利用してください。学生課、カウンセリングセンターも相談を受け付けます。

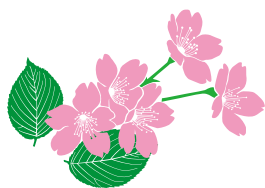
Q どのような救済措置がとられるのですか？ またプライバシーは守られますか？

A キャンパス人権委員が相談を受け付け、助言をしながら、人権委員会において最善の解決策を探ります。被害の状況によっては、学長は行為者に対し、厳正な処分を講じます。なお、相談等を受ける際、相談内容等において、個人のプライバシーを厳守します。

セクシュアル・ハラスメント防止に関するホームページ
<https://www.dokkyo.ac.jp/about/compliance/harassment>

キャンパス人権委員会委員 E-mail:jinken@ml.dokkyo.ac.jp			
氏名	所属	研究室/事務室 電話番号	メールアドレス
阿部 明日香	外国語学部教員	048-943-2238	abe_asuka@dokkyo.ac.jp
石井 保雄	法学部教員	048-942-6159	yishii@dokkyo.ac.jp
川村 肇	国際教養学部教員	048-942-8346	hkawamura@dokkyo.ac.jp
高松 和幸	経済学部教員	048-942-8167	ktakamat@dokkyo.ac.jp
徳永 光	法学部教員	048-946-1759	hkr-tokunaga@dokkyo.ac.jp
高野 一人	教育研究推進課職員	048-946-2033	takano_kazuhiro@stf.dokkyo.ac.jp
野村 高彦	教務課職員	048-946-1664	nomura_takahiko@stf.dokkyo.ac.jp
林 郁恵	教務課職員	048-946-1658	hayashi_ikue@stf.dokkyo.ac.jp
若林 美奈子	大学院事務室事務課職員	048-946-1721	wakabayashi_minako@stf.dokkyo.ac.jp

※変更がある場合は、その都度PorTaIIでお知らせします。
※「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント相談ガイド」リーフレットは、PorTaIIダウンロードセンター(学生用フォルダ > 学生生活 > 相談・ハラスメント防止)に掲載していますのでご覧ください。



新任の専任教員の紹介



1 最終出身校 2 主な担当科目 3 ひとこと



寺川 かおり
(てらかわ・かおり)
外国語学部
ドイツ語学科
専任講師

- 1 東京学芸大学大学院
- 2 上級英語、English (リーディング) 他
- 3 卒業するときに、どのような自分になっていたいですか? 学生の皆さんの目標達成を全力で応援します。



藤澤 David
(ふじさわ・ダヴィット)
外国語学部
ドイツ語学科
専任講師

- 1 ライプチヒ大学
- 2 総合ドイツ語、ドイツ語リスニング、ドイツ語スピーキング 他
- 3 ドイツ語を通して皆さんと色々な事を学べるのを楽しみにしています。Bis dann!



LANE, Peter
(レーン・ピーター)
外国語学部
英語学科
特任准教授

- 1 University of Manchester
- 2 Lecture Workshop, Comprehensive English 他
- 3 Every day is a good day to learn!



YOUNG, Danica
(ヤング・ダニカ)
外国語学部
英語学科
特任講師

- 1 Graduate school, Kent State University
- 2 Comprehensive English, Reading Strategies 他
- 3 Challenges are what make life interesting, so let's find the courage to try! I am looking forward to meeting and working with all of you as we continue to embark on this journey of learning through life.



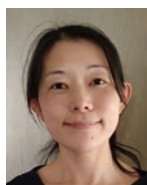
SAUZEDDE, Bertrand
(ソゼド・ベルトラン)
外国語学部
フランス語学科
准教授

- 1 ナント大学大学院
- 2 フランス語コミュニケーション講読、フランス語文章表現法 他
- 3 フランス語の勉強を通じて4年間で自分の視野を広げて、将来の夢を叶えるように頑張らしましょう。



CORBEL, Amélie
(コーベル・アメリ)
外国語学部
フランス語学科
特任講師

- 1 パリ政治学院
- 2 フランス現代社会講読・フランス現代社会各論・フランス語会話
- 3 現代社会の抱えている諸問題をジェンダーの視点から考察して、フランス語で議論しましょう。



鴈野 佳世子
(かりの・かよこ)
国際教養学部
言語文化学科
特任准教授

- 1 東京芸術大学大学院
- 2 日本研究概論、日本特殊研究、日本史研究 他
- 3 日本美術のおもしろさを知ってほしいと思います。文化を伝え、楽しむ方法を一緒に考えていきましょう。



関 久美子
(せき・くみこ)
国際教養学部
言語文化学科
特任准教授

- 1 東京学芸大学大学院
- 2 翻訳通訳論・中国語 他
- 3 中国語の学習を通じて、その背景にある文化や歴史などにも深く広く興味をもってもらえるとうれしいです。



西牟田 祐二
(にしむた・ゆうじ)
経済学部
経済学科
教授

- 1 京都大学大学院
- 2 外国経済史・外国経営史
- 3 ナチズムがなぜ出て来たのかが研究テーマです。学生時代には自分の知的興味を一心に追ってほしいです。

退職にあたって

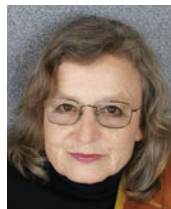


この3月末で退職される教員の方々にコメントをいただきました。 ※定年退職の方のみ掲載。



安部 哲夫
法学部
法律学科・教授

桜の花の乱れ咲くキャンパス、新緑の芝生のうえで微笑む学生、黄色に染まった舗道に響く外国語、西日が影を落とした図書館の灯り、そのすべてが生々しく蘇ってきます。互いに敬いあい、教えられることの多い日々でした。ゼミ活動や合宿も、教室でのひと時も、人生の良き思い出です。瞬く間の20年、ありがとうございました。また会いましょう。



A.ヴェルナー
外国語学部
ドイツ語学科・教授

獨協の教職員のみなさんのおかげで、有意義な21年間を過ごすことができました。学内講演会などを通し、多くの素晴らしい学者に出会うことができ、様々な興味深い仕事にも恵まれました。お世話になり感謝しています。



Ph. ヴァネ
外国語学部
フランス語学科・教授

本学において、多少なりとも私が貢献できたのであれば、誇らしくまた光栄に存じます。今日では稀な自由な環境の下、緑溢れる心安らぐキャンパスで、学生、教師、職員と共に、その特性や個性を伸ばし、知識を得、人と繋がる喜びを分かち合えた楽しい36年間でした。ありがとうございました。

※掲載は五十音順

新人事(4月1日付)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

獨協大学は「2021年度対面授業再開のための感染症防止対策検討部会」を設置し、全学的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいます。

◆ 冊子「^{みちるべ}感染症防止の道標」を発行しました

2021年度の授業を開始するにあたり、本学の感染症防止対策および獨協大生に実行してもらいたい事柄を解説した冊子『感染症防止の道標～一人ひとりの行動が未来を紡ぐ～』を発行しました。本学ポータルサイト「PorTaII」にログイン後、ダウンロードできます（※1）。獨協大生のみなさんは、必ず読んでください。
※1 PorTaII > ダウンロードセンター > 学生用フォルダ > 情報の入手

◆ 新型コロナウイルス感染症に感染した場合、または濃厚接触者に特定された場合

※新型コロナウイルス感染症は、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則により「第一種感染症」（下表参照）であるため登校禁止となります。

こちらQRコードのフォームより、現状をお知らせください。
入力内容を確認次第、保健センターより連絡します。



◆ 体調不良の場合

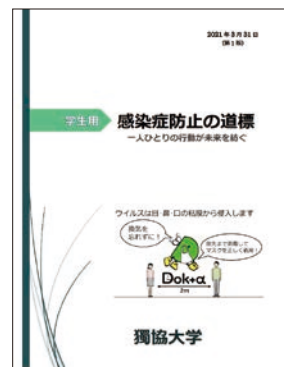
登校せず「出校可否フローチャート」（※2）に従ってください。

体調が悪いと感じた場合や、海外から帰国した場合も「出校可否フローチャート」（※2）に従ってください。

※2 PorTaII > ダウンロードセンター > 学生用フォルダ > 健康管理・健康相談
よりダウンロードしてください。

◆ 感染拡大防止啓発ポスターをリニューアルしました

本学若手職員が制作した感染拡大防止啓発ポスターを、学内に展開しています。獨協大生のみなさんに、感染予防について立ち止まって考えてもらうことを意識して作成したものです。ご自身だけでなく、友人や家族など周りの人たちと共に、感染症防止について考え、行動しましょう。



冊子「感染症防止の道標」の表紙には、本学イメージキャラクターどく太くんがマスクを付けて登場

感染症について 〈保健センター〉

学校保健安全法および学校保健安全法施行規則に定める下記の感染症にかかった場合、または疑いのある場合には、登校せず速やかに近隣の主治医または医療機関で診察を受けてください。

→その結果、感染症と診断された場合または濃厚接触者と特定された場合は、直ちに保健センターHPの「感染症入力フォーム」に入力し、送信してください。

詳細はHPをご覧ください。

学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症

第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）COVID-19（新型コロナウイルス）
第二種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹（三日はしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 その他の感染症 ⇒ 感染性胃腸炎（ノロウイルス等による）・溶連菌感染症・マイコプラズマ肺炎等

自分でできる感染予防

- 1 予防接種が推奨されている病気（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎など）でまだかかったことがなく予防接種を受けていないものがある場合は保護者・医療機関と相談の上、予防措置をとる
- 2 咳が続く時や体調不良、発熱時（37.5度以上）には、早めに医療機関に相談する
- 3 うがい・手洗いの習慣を身につける
- 4 規則正しい生活をする
- 5 十分な睡眠時間と栄養バランスのよい食事を心がける
- 6 流行時期は、人ごみを避ける
- 7 咳が出ている時はマスクを着用する

覚えておこう！ AED（自動体外式除細動器）の設置場所

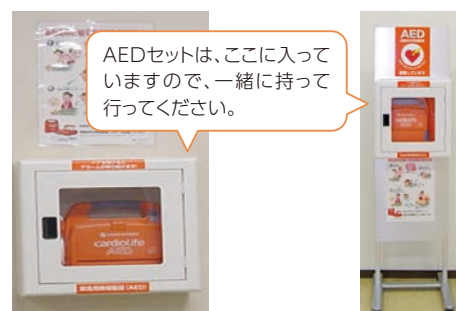
AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになりました。本学では、学内の22ヶ所に設置しています。いざという時にどこのAEDが一番近いか判断できるように設置場所をしっかりと覚えておきましょう。

設置場所

- ・ 東棟 1階西エレベーター前
- ・ 東棟 2階東エレベーター前
- ・ 西棟 1階防災センター前壁面
- ・ 西棟 3階312教室前壁面
- ・ 4棟 1階男子トイレ側壁面
- ・ 6棟 1階エレベーター前
- ・ 天野貞祐記念館 1階正面入口付近
- ・ 天野貞祐記念館 3階エレベーター前
- ・ 中央棟 1階守衛所前
- ・ 中央棟 3階エレベーター前
- ・ 35周年記念館 2階学生食堂通路
- ・ 35周年記念館 アリーナ事務室受付
- ・ 35周年記念館 トレーニングルーム内
- ・ 学生センター 1階エレベーターホール横
- ・ 学生センター 2階トレーニングルーム内
- ・ 学生センター 4階エレベーターホール横
- ・ 学生センター 別館エントランスホール奥壁面
- ・ グラウンド管理施設内
- ・ 東門守衛所内
- ・ 越谷グラウンド
- ・ クラブハウス管理室内
- ・ 敬和館受付
- ・ どく太くんバス内



設置形態の一例



個人情報保護に関する獨協大学の取り組みについて

獨協大学では、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)や関連のガイドラインを遵守しながら、学生及び学生の保証人の個人情報を取扱う場合に生じる人権侵害から個人を保護するために、「個人情報の保護に関する規程」「個人番号及び特定個人情報の取扱いに関する規程」を定め、個人情報の適正な収集、利用、管理及び保存を図り、本学での個人情報の取扱いに伴う本人の権利、利益及びプライバシーの保護に努めています。

一方で新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、遠隔授業実施による個人情報の収集、キャンパス内の移動履歴の把握、日々の健康状態チェックなどにより、これまでも増して個人情報収集の機会やその種類が増えています。個人情報の保護に関する法律によれば、保有する個人データについて、原則として本人に通知等している利用目的とは異なる目的で利用し、又は、本人の同意なく第三者に提供することは禁じられていますが、このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として個人情報を取り扱う場合には、例外として、本人の同意を得ることなく、目的外利用や第三者への提供等の適用も含めて対応することが可能とされています。もちろんその場合も、本学では提供するデータの項目及びその利用目的、安全管理措置等を考慮して対応いたします。

1. 対象とする個人情報について

獨協大学の「個人情報の保護に関する規程」において対象としている「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であって、本学の学生(オープンカレッジ受講生を含む)、卒業生その他在籍した学生の情報、学生の保証人の情報をいいます。個人の名前が記載されている情報だけでなく、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものや、マイナンバー(個人番号)や遠隔授業実施や検温用サーモグラフィ利用等による顔画像や音声などの個人識別符号も含まれます。また「個人データ」とは、学生の個人情報などを電子ファイル化などにより検索できるように体系化したもので、本学が組織的に保有している個人情報データベースを構成する個人情報をいいます。

また、本人の人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪により害を被った事実その他本人に対する不当な差別や偏見などの不利益が生じないように、その取扱いに特に配慮を要する「要配慮個人情報」も対象としています。

2. 利用目的の特定

学生及び保証人の個人情報は、以下のとおり、本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。また、卒業後に大学及び同窓会からの連絡、各種証明書の交付のために利用することがあります。

(1) 学生の個人情報の利用目的

入学関係: 入学志願者に対する選抜試験運営、入学手続き(編入学、再入学を含む)、大学案内送付
学修関係: 学生証交付、履修相談・学修指導、学業奨励、履修登録、教職等諸資格課程登録、授業・試験運営、学修支援、成績処理、単位認定、進級・卒業判定、諸資格判定、学位授与、協定校単位互換による履修、長・短期海外留学、国際交流
学籍関係: 休学・復学・退学・除籍手続、転学部・転学科手続
学生生活: 学生生活全般にかかわる指導・助言、福利厚生施設の紹介、奨学生選考、学修支援新制度選考、奨学金交付・償還、定期健康診断、日常的な健康相談、定期的な健康状態の把握、カウンセリング、課外活動支援、甲斐、災害見舞、キャンパス内の移動履歴の把握
進路関係: キャリア(進路)形成支援、求職登録、就職斡旋、資格取得のための課外講座運営
施設等利用: 図書館、情報インフラ・ネットワーク、教室、体育施設等
その他: 各種連絡・通知、諸証明書発行、用具・備品等の貸与、学則による賞罰、授業料納入処理、一般社団法人獨協大学同窓会の要請による案内(ホームカミングデーの案内送付、同窓会入会、学生総合保険加入、海外旅行傷害保険加入、卒業アルバム写真撮影及び配布)、獨協大学父母の会・学生支援事業運営

(2) 保証人の個人情報の利用目的

学生の学修指導等に必要と連絡。各種送付物(大学ニュース、学業成績通知書、学費納付書、大学行事案内、特別講座への参加案内、大学を後援していただくためのご依頼、学生向けに送付物で確実に受領される必要のある案内、一般社団法人獨協大学同窓会・獨協大学父母の会・校友会・獨協大学教職員組合からの案内)の発送。

(3) 教職員の個人情報の利用目的

①教職員の学内履歴管理、②雇用関係の管理、③健康・医療情報の管理の目的で利用します。なお、教職員の人事情報は、人事管理目的で利用するのが原則ですが、一定の手続きを経て、学内の他業務用途に利用することがあります。

3. 適正な収集・利用目的の通知等

(1) 適正な収集

個人情報の収集は、学生本人から、適正かつ公正な手段により収集します。なお、思想、信条及び信教に関する事項並びに社会的差別の原因となる事項等の調査を目的とした個人情報の収集は行いません。また、要配慮個人情報の収集を行う場合には、原則として、あらかじめ学生本人の同意を得た上で収集します。

なお、本学はその教育課程において、学生の個人データに、成績、健康管理、課外活動などの情報を付加したものをデータベース化し、「保有個人データ」として扱います。

(2) 利用目的の通知等

個人情報を収集した場合は、あらかじめその利用目的を公表している場合を除き、その利用目的を本人に通知し、又は公表します。また、利用目的を変更した場合は、変更した利用目的について、本人に通知し、又は公表します。

なお、本学の各窓口において申請手続が行われる場合には、目的外利用を行わない旨の通知を掲示物で表示することで、本人に公表したものとみなしています。

(3) 目的外利用等

学生、保証人から収集した個人情報をやむを得ず前述の利用目的以外に利用した場合は、その旨及び内容を速やかに本人及び個人情報保護管理者(学長)に書面により通知します。なお、目的外利用が必要な場合のみ限定的に行うこととしています。

4. 個人データの第三者への提供

本学では、あらかじめ本人の同意を得た上で、学生の個人データを以下のとおり第三者に提供することがあります。

また、これ以外に提供の必要性が生じた際には、その都度、本人への意思確認を行います。

なお、本学は、学生の在学時及び卒業後のきめ細かなサービス提供のため、学生及び保証人の個人データに関して、一般社団法人獨協大学同窓会と共同利用させていただいています。

(1) 学生の学業成績等、学修状況を学生の保証人に提供する場合

本学では、保証人(ご父母等)と連携した個別学修指導を教育上有用な取り組みと考へており、学期末の成績が確定した段階で保証人宛に「成績通知表」を送付し、学修状況に関する問い合わせや相談等に応じています。また、父母懇談会においても、学生の単位修得状況や進級・卒業条件の充足度などを保証人の皆様に提示しながら、学生の進学や就職、学生生活に関して個別面談を行っています。

「個人情報の保護に関する規程」に基づき、学生本人が同意しない場合、原則として当該学生の学業成績等、学修状況に関する情報を保証人にお伝えすることができませんが、本学では学生本人から「保証人への成績開示変更届」の提出がなければ、保証人への成績開示について同意があったものとみなします。なお、入学後に学生本人からの求めに応じて、保証人への成績開示を停止することは可能です。

(2) 学生の名簿を作成、開示する場合

本学では、原則として学生の個人データを第三者に提供することはありません。ただし、以下の教育指導、学生交流、卒業生交流などの場合に、請求者の安全管理体制を確認し、あらかじめ本人の同意を得て第三者に提供することがありますが、健康診断等の結果などの要配慮個人情報については、原則として提供しません。

① 教育指導

遠隔授業の実施、外国語教育などにおけるe-ラーニング、検定試験及び実務実習などにおいて、公共機関や学外の関連業者に教育を委託する場合。

② 校友会及びクラブ活動

学生の指導、相互交流を図るための課外活動において必要とときに、指導教員又は担当事務局が責任を持って管理することを条件に、学生氏名、学籍番号、連絡先のリストを作成する場合。

③ 同窓会活動及び同窓会の経営する株式会社デュオの営業

本学の同窓会である一般社団法人獨協大学同窓会の諸活動(会員名簿の管理、会報の発行及び発送、支部の運営、在学生支援、卒業アルバム製作及び配布)並びに同窓会が学内において支援サービスのため設立している株式会社デュオの業務(学生総合保険、海外旅行傷害保険、書籍販売、旅行幹線、不動産紹介、印刷請負)実施のため必要な場合。

④ ゼミ、クラス及び校友会、クラブ活動における卒業生同士の会合

大学を卒業、中退した者が相互の懇親のための会合を持つ場合等で、一般社団法人獨協大学同窓会又は所属した指導教員から文書による依頼があった場合、なお、必要に応じて、本学又は同窓会が代行して本人の意思確認を行うことがあります。

5. データ内容の正確性の確保及び安全管理措置

本学は、個人情報の安全性及び信頼性を確保するため、当該個人情報を最新の状態に保つよう努め、漏えい、滅失、き損及び改ざんの防止に関し、必要な措置を講じます。個人情報を収集する本学としての対応に加え、学生、教職員に対してもPC利用に際してのセキュリティ対策への啓発や、誤操作・誤送信等による情報漏洩を発生させない注意喚起、個人情報記載物及びそれらのデータを含む電子媒体、PC等の持ち出し制限の強化等により指導を行っています。

本学が個人情報の取扱いの全部又は一部を外部委託する場合は、当該個人情報の適正な取扱いに関して契約書等で内容を明確にした上で、委託業者に対する必要かつ適切な監督を行います。

6. 開示・訂正・利用停止要求等

(1) 開示

学生本人から、当該学生が識別される保有個人データの開示を書面又は口頭により求められたときは、身分証明書等により本人確認を行った上で、当該保有個人データを開示します。ただし、開示請求に係る保有個人データについて開示しないことが相当であると判断されたときは、当該保有個人データの全部又は一部について開示しないことがあります。その際には、本人に対して、開示しない理由を書面により通知します。

(2) 訂正等

学生本人から、当該学生が識別される保有個人データの内容が事実でないという理由によって、当該保有個人データの内容訂正、追加又は削除を求められたときは、利用目的の達成に必要な範囲内において、必要な調査を行い、その結果に基づき、当該保有個人データの訂正等を行います。

(3) 利用停止等

学生本人から、当該学生が識別される保有個人データの収集、利用及び提供が「個人情報の保護に関する規程」に違反しているという理由によって、当該保有個人データの利用停止又は消去を求められたときは、必要な調査を行い、その求めに理由があることが判明した場合に、違反の是正に必要な限度かつ本学の対応が可能な範囲で、当該保有個人データの利用停止又は消去を行います。

7. 管理、組織体制

個人情報保護管理者(学長)は、本学における個人情報の適正な取扱い(収集、利用、提供、削除等)を司る責任を有します。個人情報維持管理者(各学部長、付属機関の長など)は、その所管する業務の範囲内における個人情報の収集及び維持管理に関し、「個人情報の保護に関する規程」の定めに従い、適正に取り扱う責任を有します。個人情報情報管理者(施設事業部長)は、情報システムにおける個人データを適正に管理運用する責任を有します。また、本学の個人情報の保護に関わる重要事項を審議するため、個人情報保護委員会(事務所管:総務課)を設置しています。

2020年度秋学期 「学生による授業評価アンケート」実施報告

【実施概要・調査方法】

2020年度秋学期「学生による授業評価アンケート」は、原則、第13回目あるいは第14回目の授業日(最終授業日)(1月9日～26日)の指定クラスにて教員から学生への指示の下で行いました。本学では2020年度秋学期は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実技・実習を伴う授業等を除くほとんどの授業を遠隔(オンライン等)で実施しました。これにより、リアルタイム型以外の授業では授業中に教員から学生への指示が困難となり、対象となる全ての学生に対して、1月9日～27日の間に各自アンケートに回答するようPorTaIIの個人向け掲示板や電子メールにより呼びかけました。

アンケートはアンケートA(選択式)とアンケートB(自由記述)の方式をとり、アンケートAでは授業ごとに「学生の出席状況」「授業に関する5項目の質問」「授業の問題点」について選択肢を設けました。アンケートBでは学生からの要望・意見を記述式で求めました。

また、回答者の授業評価が一定以上出席した上での判断であるかどうかを把握するために出席状況を確認し、「24%以下」「ほぼ全回欠席」と回答した学生に対しては、低出席の理由を回答する選択肢を設けました。

【集計方法】

アンケートAは授業ごとの満足度を集計しました。アンケートBは学科・学年・出席状況の入力と、自由記述部分は回答者が入力した原文をそのまま集計しました。なお、集計の際には学生個人を特定するデータは一切含まれておりません。

【集計結果】

以下および次ページの全体集計結果をご参照ください。

※フィードバック公表制度について：各教員から任意に寄せられたフィードバックには、授業評価の結果に対する①項目別の納得度および項目別の意見・感想、②全体の納得度、③全体の意見・感想が記されています。これらは、PorTaIIにて当該科目の受講生限定で3月8日から公表しております。また、アンケートAの集計結果は、紙媒体により学内3か所(図書館、教務課、学友会総務部長室)で公表しております。

●「学生による教育環境改善のためのアンケート」の結果については大学ニュース7月号でお知らせする予定です。

【教員へのアンケート結果の報告】

アンケートAおよびアンケートBの集計結果については、各教員は2月15日から各自の担当科目についてPorTaIIで閲覧可能となっています。

また、各教員が自身の授業への評価が全学でどの位置にあるかを把握できるよう、担当する授業の評価と全学平均を比較表示した資料を個別配付しました。資料では、授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数としました。

なお、アンケートAおよびアンケートBとも回答者が特定できないようにシステム設計されております。

【今後の方針】

授業評価アンケートにより、教員は学生の授業に対する評価・感想・要望などを知ることができ、授業計画の修正や授業方法の改善を図ることができます。授業評価アンケートは学生の意見をとり入れながら授業の質や教育効果を高めていく手段として重要なものです。

本学では各教員より寄せられるアンケート結果に対するフィードバックを公表する制度(※)を継続して実施しております。授業に対する教員・学生の相互理解が深まり、よりよい授業が展開されるよう取り組んでいきたいと考えています。

(自己点検・評価室)

【アンケート結果について(授業評価部分)】

講義

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて86%以上である。各項目の評価指数は、他の授業形態(「外国語」、「演習」、「体育」と比較して最も低い。昨年度との比較では、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が増加し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が減少している。

外国語

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて88%以上である。各項目の評価指数は、授業形態別では「講義」と同じあるいは高く、「演習」、「体育」より低い。昨年度との比較では、<そう思う><ややそう思う>の割合が「5.この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた」以外の項目において増加した。また全ての項目において、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合も増加している。

演習

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて94%以上である。各項目の評価指数は、「講義」「外国語」より高く、「体育」と同等あるいは高い。昨年度との比較では、全ての項目

において、<そう思う><ややそう思う>の割合が減少し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が増加している。

体育

各項目における<そう思う><ややそう思う>の割合は合わせて93%以上である。各項目の評価指数は、授業形態別では「演習」と同等あるいは少し低い。ただし、「4.この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった」に関しては最も高い。昨年度との比較では、全ての項目において、<そう思う><ややそう思う>の割合が増加し、<そう思わない><あまりそう思わない>の割合が減少している。

低出席者における低出席理由について

昨年度との比較では、「演習」以外の授業形態において「授業内容に不満」が増加しており、特に外国語と体育は、5年度連続で増加している。

その他

「出席状況」および「宿題・課題が適切でない」の割合がすべての授業形態で増加した。「板書が見えにくい」および「学生の私語が多い」の割合がすべての授業形態で減少した。

2020年度秋学期「学生による授業評価アンケート」全体集計結果

2020年度秋学期「学生による授業評価アンケート」の授業形態別(講義・外国語・演習・体育)の全学的な平均値を報告します。

1 授業形態別 出席状況(全学平均)		単位 %							
項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期
出席状況	100-75%	91.0	72.6	95.0	87.3	92.0	86.0	87.1	77.6
	74-50%	5.7	16.4	3.5	9.6	6.5	11.0	7.7	10.8
	49-25%	1.3	5.8	0.4	1.2	0.9	1.6	3.9	2.4
	24%以下	0.8	2.1	0.2	0.5	0.1	0.6	0.0	3.0
	ほぼ全回欠席	1.2	3.1	0.9	1.5	0.5	0.8	1.3	6.2
	不明(未記入)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2 授業形態別 低出席者率・理由(全学平均)		単位 %							
項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期
低出席者率		2.0	5.1	1.1	1.9	0.6	1.4	1.3	9.2
低出席理由	授業内容に不満	30.5	22.6	27.4	35.3	11.1	0.0	50.0	16.4
	必修科目外	26.7	28.1	11.0	12.1	0.0	10.5	0.0	45.5
	アルバイト	10.5	14.3	12.3	9.8	22.2	5.3	0.0	20.0
	就職活動	18.8	9.9	4.1	7.9	22.2	50.0	50.0	3.6
	クラブ・サークル	1.1	3.5	0.0	4.2	0.0	2.6	0.0	3.6
	不明(未記入)	29.7	29.6	52.1	36.3	66.7	39.5	50.0	29.1

注1:「低出席者率」とは、出席状況「24%以下」「ほぼ全回欠席」を選択した人の率を指しますが、回答者の評価がその授業に一定程度出席した上での判断かどうかを把握するための作業上の基準であり、履修上必要な最低限の出席頻度を意味するものではありません。

注2:複数回答可。値は低出席者数における回答数で表したものです。

4 授業形態別 授業の問題(全学平均)		単位 %							
項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期
授業の問題	テキストや教材が適切でない	2.4	1.8	1.7	3.0	0.7	0.4	1.3	0.3
	宿題・課題が適切でない	3.5	1.2	4.1	2.7	1.6	0.7	0.6	0.0
	板書が見えにくい	1.0	4.7	0.9	1.8	0.3	0.4	0.6	0.2
	教員の話が聞き取りにくい	3.1	4.6	2.9	3.5	0.7	0.4	0.6	0.2
	学生の私語が多い	0.1	2.5	0.1	2.2	0.1	0.7	0.0	0.7
	未提示休講がある	0.4	0.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.3
	教員の遅刻・早退が多い	0.4	0.6	1.1	1.1	0.3	0.7	0.0	0.2
	その他	1.7	1.0	1.8	1.1	0.5	0.6	0.0	2.5

注:複数回答可。値は回答者数に対する回答数で出したものです。

実施状況

	対象者数	回答者数	回答率
20秋学期	8,194	2,746	33.51%
19秋学期	8,434	4,583	54.34%

3 授業形態別 授業評価(全学平均)		単位 %							
項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期	20秋学期	19秋学期
1. この授業の目標設定と内容は適切であった	そう思う	68.7	60.6	72.7	67.7	83.6	82.0	80.0	79.8
	ややそう思う	23.8	27.3	20.3	23.0	13.1	14.9	16.1	11.8
	あまりそう思わない	4.3	6.1	4.1	5.1	1.8	1.7	1.9	2.5
	そう思わない	2.0	2.4	2.0	2.6	0.8	0.5	0.6	1.2
	分からない	1.2	3.5	0.9	1.6	0.7	0.8	1.3	4.7
	評価指数(ポイント)	1.1	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2
2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった	そう思う	60.7	55.9	64.3	64.6	82.8	82.1	80.6	79.2
	ややそう思う	25.5	28.0	24.0	23.6	13.9	14.9	16.8	12.1
	あまりそう思わない	8.0	8.8	6.7	6.9	1.9	1.9	1.3	2.7
	そう思わない	4.1	3.8	3.5	3.3	0.9	0.4	0.0	1.2
	分からない	1.6	3.5	1.4	1.5	0.5	0.7	1.3	4.9
	評価指数(ポイント)	0.9	0.9	1.0	1.0	1.3	1.3	1.3	1.2
3. この授業は知的関心・教養を高めたり、専門的知識・技能を身につける上で役立った	そう思う	64.9	58.3	67.5	65.8	83.9	83.1	76.1	77.6
	ややそう思う	25.8	28.0	24.0	23.9	13.0	14.0	17.4	12.3
	あまりそう思わない	5.4	7.6	5.0	5.8	1.9	1.6	3.9	3.4
	そう思わない	2.6	2.8	2.5	2.8	0.6	0.5	1.3	2.0
	分からない	1.3	3.4	0.9	1.7	0.5	0.7	1.3	4.7
	評価指数(ポイント)	1.0	0.9	1.1	1.0	1.3	1.3	1.2	1.2
4. この授業の難易度・進度は自分にとって適切であった	そう思う	59.2	55.1	62.1	62.4	76.4	77.4	78.7	78.3
	ややそう思う	27.4	28.9	26.0	24.8	18.2	17.5	17.4	11.8
	あまりそう思わない	8.2	8.6	7.6	7.5	3.5	3.1	2.6	2.9
	そう思わない	3.5	3.6	3.1	3.7	1.3	1.1	0.0	2.5
	分からない	1.7	3.7	1.1	1.7	0.5	1.0	1.3	4.5
	評価指数(ポイント)	0.9	0.9	1.0	1.0	1.2	1.2	1.3	1.2
5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に応えた	そう思う	63.6	58.0	69.4	67.9	84.9	83.9	77.4	78.5
	ややそう思う	22.5	27.4	20.0	22.0	11.0	12.9	16.1	10.8
	あまりそう思わない	5.7	6.9	4.7	5.3	2.0	1.6	1.9	3.2
	そう思わない	3.2	2.9	2.7	2.7	0.9	0.6	0.0	2.2
	分からない	4.9	4.7	3.3	2.1	1.1	0.9	4.5	5.4
	評価指数(ポイント)	1.0	0.9	1.1	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2

中川 純子(ドイツ語学科非常勤講師)著

『音読で学ぶドイツ語』

1200の語彙と初級文法が身につく厳選フレーズ集

第三書房 2020年11月 2200円



ドイツ語の基本的な語彙1200語と初歩的な文法について、例文を用いて丁寧に解説する入門書です。音声ダウンロードできるQRコードや暗記用チェックシート付き、読み物としても魅力的な内容で楽しく学べます。



本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報。

Books column

三宅 弘(交流文化学科特任教授)著

『情報公開法改正』『公文書管理』の論点整理ハンドブック』

シングルカット社 2020年11月 1500円



「知る権利」を守る情報公開法に長く関わってきた筆者が、その改正と公文書管理制度の確立に至るまでの議論について、「レバタ事件」や近年の「桜を見る会」の問題などを挙げつつわかりやすく整理・解説しています。

岩崎 充益(言語文化学科非常勤講師)著

『コロナ時代の公教育: AI時代を生き抜くために』

スローウーター 2020年11月 1500円



コロナ禍の影響を受け、教育現場はこれまでにない速さで進化しようとしています。AIの登場やリモート化の推進など、新時代に向かう教育の在り方を整理し、その問題点や課題を問う一冊です。

末松 良道(言語文化学科非常勤講師)分担執筆

『中世英語英文学研究の多様性とその展望 吉野利弘先生山内一芳先生喜寿記念論文集』

春風社 2020年11月 8000円



合計で31本の論文を収録した、英文学についての論文集。「古英語」「中英語」「中世受容」「通時研究」の4部で構成されており、多様な視点と方法論で、英語英文学の可能性を探り出しています。

岡田 順太(法律学科教授)分担執筆

『戦後日本憲政史講義: もうひとつの戦後史』

法律文化社 2020年11月 5900円



日本が大きく姿を変えた「戦後」という時代、それはいつ始まりいつ終わるのか。その全容を、これまでの政治的な実践や法制度、法解釈などの観点をもとに、「憲法」から明らかにする一冊です。

野村 容康(経済学科教授)分担執筆

『テキストブック 租税論』

創成社 2020年11月 3200円



「租税」の基礎を様々な角度から解説するテキストです。日本の租税体系の概要や租税の基礎となる概念など、租税について理解するための基本、今後の課題などを幅広く論じています。

右崎 正博(名誉教授)共著

『緊急事態と憲法 ー 新型コロナウイルス緊急事態の体験を経て ー 学習の友社 2020年12月 1000円

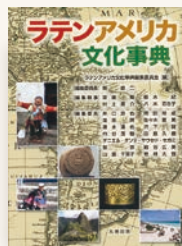


新型コロナウイルス蔓延に伴い発令された「緊急事態宣言」。こうした状況下において、個人の権利、自由はどこまで守られるべきかといった視点から、「緊急事態条項」を盛り込んだ改憲案を考察しています。

浦部 浩之(言語文化学科教授)分担執筆

『ラテンアメリカ文化事典』

丸善出版 2021年1月 20000円



ラテンアメリカの文化を1項目見開き2ページの構成で解説。ジャガイモやサルサなどの身近な文化やそれを育んだ環境、文明、歴史、民族、宗教、言語、政治経済などを幅広く網羅し、紹介しています。

堀川 宏(言語文化学科専任講師)著

『しっかり学ぶ初級古典ギリシャ語』

ベレ出版 2021年1月 2500円



プラトンやアリストテレスなどの哲学者が用いた言葉、「古典ギリシャ語」。難解な言語と名高いギリシャ語を知る第一歩として、いわばギリシャ語の初級、基本の「き」を丁寧に教えてくれる入門書です。

岡垣 知子(副学長・国際関係法学科教授)著

『国際政治の基礎理論』

青山社 2021年1月 2700円

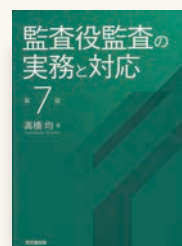


国際政治の本質とは何か? 国際政治学を学ぶ醍醐味とは何か? 基礎概念や理論を通して国際政治学のエッセンスを体系的に学び、科学的にものを考える喜びや理論の世界の美しさに読者の視野を広げる基本書です。

高橋 均(総合政策学科教授)著

『監査役監査の実務と対応(第7版)』

同文館出版 2021年1月 3800円

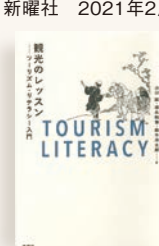


会社役員監査の実務が理解すべき法と実務を解説し、10年以上にわたり実務家を中心に支持されているパイプラインな書籍。第7版は、令和元年改正会社法や令和2年改正会社法施行規則を反映しています。

山口 誠(交流文化学科教授)、須永和博(交流文化学科教授)、鈴木涼太郎(交流文化学科教授) 共著

『観光のレッスン ツーリズム・リテラシー入門』

新曜社 2021年2月 1400円



ツーリズムに自由を目指す学問「リベラル・アーツ」の視点を盛り込むことで、さらなる可能性を探る入門書。豊富な事例やレッスンやブックガイドなども掲載され、使いやすくなっています。

浦部 浩之(言語文化学科教授)共編著

『ラテンアメリカ 地球規模課題の実践』

新評論 2021年2月 3000円



政治的にネガティブなイメージが付きまとうラテンアメリカですが、じつは貧困や人権侵害、差別などのグローバル課題の解決に率先して挑んできました。そんな先進的な取り組みの数々を紹介します。

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

芸術・文化に触れよう!



— 文化施設利用制度のご案内 —

獨協大学父母の会の助成を受けて、学生証の提示で博物館・美術館への入場が無料(割引)となる制度に加入しています。

東京国立近代美術館

1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。

■ 東京メトロ東西線 竹橋駅下車



撮影：上野則宏

江戸東京博物館

江戸東京の歴史と文化、そこに暮らす人々の生活を楽しみながら学ぶことができる博物館。資料だけでなく、ダルマ自転車や人力車など体験できる展示がある。

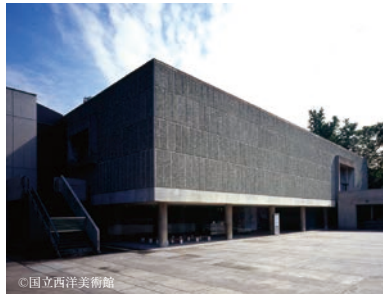
■ JR総武線/都営大江戸線 両国駅下車



国立西洋美術館

松方コレクション(印象派の絵画およびロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)を中心に、西洋美術に関する作品を幅広く展示。

■ JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



©国立西洋美術館

江戸東京たてもの園

都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。

■ JR中央線 武蔵小金井駅下車



国立新美術館

展示スペースが日本最大(約14,000㎡)。コレクションを持たず、展覧会の開催や美術に関する情報収集および公開、教育普及を目的とした新しいタイプの美術館。

■ 東京メトロ千代田線 乃木坂駅、東京メトロ日比谷線/都営大江戸線 六本木駅下車



国立科学博物館

日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているもの他に収蔵品の数は460万点を超える。

■ JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



東京国立博物館

日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。

■ JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



国立劇場

わが国の伝統芸能の保存および振興を目的として設立。歌舞伎、文楽をはじめ、舞踊、邦楽、民俗芸能、声明、雅楽等のさまざまな芸能を上演している。

■ 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅、有楽町線/半蔵門線/南北線 永田町駅下車



草加市文化会館

草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。

■ 東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅下車



施設名

- 東京国立近代美術館 工芸館(金沢)
- 国立映画アーカイブ
- 東京都現代美術館
- 東京都写真美術館
- 東京都庭園美術館
- 東京都美術館
- 東京文化会館
- 東京芸術劇場
- 国立科学博物館附属 自然教育園
- 筑波実験植物園

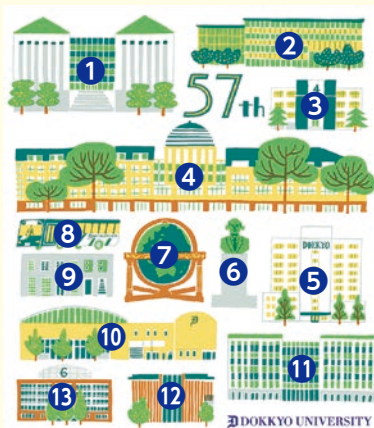
その他、
右記施設でも
制度が適用
されます。

表紙の紹介

本号表紙は、キャンパス内の建物や構造物をイラストで表わしています。表紙を見ながら、このイラストがどこの建物かあててみましょう。なお、表紙に記された「57th」は、本学が1964年に開学してから今年で57年を迎えることを表わしています。

- ① 東棟
- ② 学生センター
- ③ 4棟
- ④ 天野貞祐記念館
- ⑤ 中央棟
- ⑥ 天野貞祐初代学長胸像
- ⑦ 地球儀
- ⑧ 大学バス
- ⑨ 研究所棟
- ⑩ 35周年記念館
- ⑪ 創立50周年記念館(西棟)
- ⑫ 学生センター別館
- ⑬ 6棟

Illustration : Junichi Kishi



ぶらりらいぶらり

Vol. 99

資料探し、サポートします!



Twitter 始めました!
@dokyolibrary

新年度がスタートして1カ月が過ぎましたが、レポート作成に困っている人はいませんか? 図書館は皆さんの学修をサポートします。

●図書館はどこにあるの?

天野貞祐記念館にあります。
1階~3階に入退館ゲートがあり、駅の改札のように**学生証**をかざして入ります。

●図書館の資料を探すには?

図書、雑誌、音楽CD、映像資料などを所蔵。
PCやスマートフォンで**蔵書検索(OPAC)**を使って探します。

OneSearch(まとめて検索)という検索方法もある。これなら、図書や雑誌の他にデータベースも検索できるんじゃ。



©Mina Onda

●資料を借りるには?

学生証と借りたい資料を持ってメインカウンター(1階)、3Fカウンターへ。

●資料探しで困ったら?

レファレンスカウンター(1階、2階)に質問してください。
レポート、プレゼンテーションのデータや、企業情報の探し方の相談にも乗りますよ。



総合レファレンスカウンター(1階)

●更なる図書館の情報は、
こちら!

【獨協大学図書館ガイド】



●自宅から利用できる資料はあるの?

電子書籍&電子ジャーナル(雑誌)、データベースがあります。(PCで検索。VPN接続が必要)
電子書籍:英語多読リーダー、小説、論文の書き方など
データベース:新聞・雑誌記事、論文など

●自宅から資料の相談はできるの?

MyLibrary*で、オンラインレファレンス(資料相談)ができます。

*MyLibrary(マイライブラリ)とは?

- ⇒個人専用ページです。
- ・貸出などの利用状況の照会
- ・資料の貸出延長(1回目のみ)
- ・自動書庫にある資料の出庫請求 …など

編集 総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者 伊藤 あす美(国関法3年) 遠藤 夏乃(済3年) 川上 徹也(環4年) 小林 優麻(律4年)
[五十音順] 高橋 弘行(済3年) 初澤 汐里(独4年) 古田 千夏(独4年)

